

セキュリティガイドライン 実装WG

～ 2006年度活動計画 ～

平成18年 11月 7日

株式会社ラック 研究開発本部
データベースセキュリティ研究所
所長 大野 祐一

セキュリティガイドライン実装WG

■ 背景

- ガイドラインで「あるべき姿」は提示できたが、「どこまで実装するか」はSierに委ねられている
- ログの分野を中心にDBセキュリティに注目されてきてはいるものの、ログを取った後の運用の話はまだ不十分である

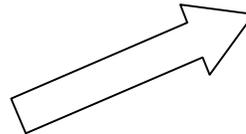
■ 目的

- ガイドラインの有効活用促進
- 「どこまで」、「どのように」実装すべきかをドキュメント化し、更なるシステムのセキュア化に貢献

成果物の方向性

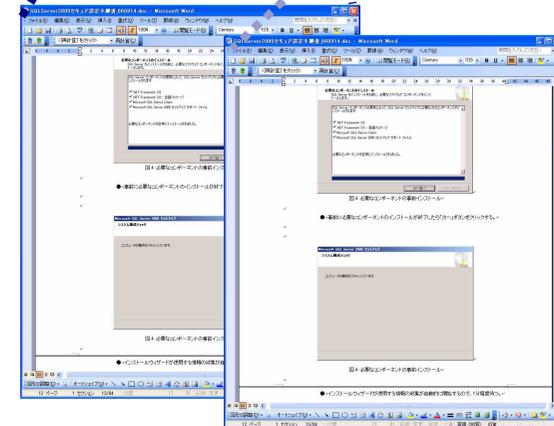
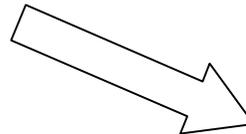
DBMS比較表

- 第3章 DBセキュリティ対策
- 3.1 防御系のセキュリティ対策
 - 3.1.1 初期設定
 - 3.1.2 認証
 - 3.1.3 アクセスコントロール
 - 3.1.4 暗号化
 - 3.1.5 外部媒体の利用制御
 - 3.1.6 その他
- 3.2 検知、追跡系のDBセキュリティ対策
 - 3.2.1 ログ管理
 - 3.2.2 不正アクセス検知
 - 3.2.3 監査
- 3.3 対策指針
 - 3.3.1 DBセキュリティポリシーの策定
 - 3.3.2 人的対策



	DB 1	DB 2	DB n	DB 4	DB 5
対策a					
対策b					
対策c					
...					

DBMS別実装手順書



成果物の種類

■ DBMS比較表

- 目的:セキュリティ機能面でのDBMS比較
- 対象:アーキテクト、システム設計者
- DBMS別にガイドに記載されている項目が実装できるか否か、可能な場合の簡易説明が表形式で記載。
新規システム構築等におけるDB選定の際に使うことを想定。
各DBMSにおける詳細な実装手順は、手順書参照。

■ DBMS別実装手順書

- 目的:DBMS、製品における具体的な実装手順の確認
- 対象:セットアップ担当者、システム設計者、開発者...etc
- DBMSとOS、その他製品等環境と目的(セキュリティ対策)が決まった場合に、比較表の中身を実装する場合の具体的な手順を記載。
設計や実装時のポイントや、実装/未実装時のリスクを記載することで、利用者にとって、欲しい情報を記載する。

スケジュール感

